

東大和市都市マスタープラン地域別構想(素案)に関する説明会

1. 説明会開催状況

開催日	開催時間	開催場所	参加人数
令和6年7月27日(土)	10時10分から11時30分まで	市役所会議棟第1・2会議室	15人
令和6年7月29日(月)	19時10分から20時30分まで	向原市民センター集会室1・2	4人
令和6年7月30日(火)	19時10分から20時30分まで	奈良橋市民センター学習室	5人
合計			24人

2. 説明内容

東大和市都市マスタープラン地域別構想(素案)の要旨をまとめたスライドを用いて説明を行った。
(所要時間約15分)

3. 参加者からの意見等と市の回答の要旨

	参加者の意見等	市の回答
1 地域別のまちづくりについて		
芋窪・蔵敷地域		
1.	旧青梅街道や旧芋窪街道の歩道がない区間の道路拡幅の予定はあるか。	旧青梅街道や旧芋窪街道などの都道の拡幅予定の有無については手元に資料がなく、お答えできない。 一般論として道路の拡幅には困難性が伴うことも多く、ソフト面の取組と合わせた交通安全対策が必要と考えている。
2.	第七小学校の校庭と都市計画公園である下砂公園を一体的に整備できないか。	第七小学校の校庭を公園として整備することは防犯上の観点などから難しいと認識している。
3.	都市計画公園である下砂公園の区域を変更できないか。	第七小学校の校庭と都市計画公園である下砂公園の重複部分を削除するとともに、空堀川旧河川部の緑道部分を都市計画公園として新規指定し、空堀川沿川におけるみどりのネットワークの強化を図りたいと考えている。
4.	大和芝中住宅の建替えの機会を捉えたまちづくりについてどのように考えているか。	大和芝中団地については、今後の更新などの動向を捉え、地域特性などを踏まえたまちづくりを都市計画の面から促進していく必要

		があると考えている。
5.	立3・5・20号東大和武蔵村山線は、第七小学校と第九小学校の統合後の通学路などにもなると思うが、整備の予定はあるか。	現時点において、立3・5・20号東大和武蔵村山線の具体的な整備時期は未定である。 小学校の統合に伴う通学路の安全性の向上は課題であると認識しており、関係部署と調整しながら検討していきたい。
6.	多摩都市モノレールを北側の所沢方面に延伸する計画はないのか。	多摩都市モノレールは西側の箱根ヶ崎方面に延伸する計画が進められているが、北側に延伸する計画はない。
中央・南街地域		
7.	建築物の不燃化や耐震化の促進に向け、どのような取組が考えられるか。	旧耐震基準の木造住宅の耐震改修や除却の費用助成の継続や準防火地域の指定などが考えられる。
仲原・向原地域		
8.	ハミングホール周辺にカフェなどの滞在空間がほしい。	飲食店などの立地に向けては、商業の活性化に資するソフト的な取組とあわせ、歩きやすい環境づくりや回遊性の向上などが有効であると考えられる。 このような視点を踏まえつつ、東大和市駅周辺のまちづくりを検討したい。
9.	野火止用水は駅に近接した立地をいかしながら保全や活用ができるとうい。	野火止用水は東大和市駅周辺の回遊性の向上や、玉川上水や緑道などと繋がるみどりのネットワークの形成に寄与する資源であり、個性を活かした改修など魅力の向上に資する取組を検討していきたい。
桜が丘地域		
10.	小規模な公園の集約・統合を含めた適正配置や機能の分担に向けた検討について伺う。	桜が丘地域にはマンション建設に伴い整備された小規模な公園が多く立地しており、適切な機能分担などを検討していきたい。
11.	桜街道駅付近の旧カシオ計算機跡地の動向について伺う。	民間事業者による共同住宅の計画があるものと承知している。
2 推進地区のまちづくりについて		
上北台駅周辺地区		
12.	多摩都市モノレールの延伸を契機としたまちづくりについてどのように考えているか。	多摩都市モノレールの延伸については、2030年代の半ばの開業を目指して計画が進められている。

		こうしたまちづくりの機運の高まりを捉えつつ、令和5年12月策定の「上北台駅北側地域の魅力あるまちづくりと空堀川周辺のみどりの再編の方向性」の実現に向け取り組んでいきたい。
13.	多摩都市モノレールの延伸に伴い設置される新駅の位置はどこか。	地域別構想（素案）の1ページなどに新駅のおおむねの位置を表示している。 詳細については東京都のホームページをご覧ください。
14.	上北台駅北西地区の地区計画の策定に向け、地域住民への説明などの予定はあるか。	令和6年度に地域住民などを対象としたアンケート調査や意見交換の実施を予定している。
15.	新駅周辺地区の立3・5・36号オカネ塚線の整備の予定はあるか。	現時点において、立3・4・36号オカネ塚線の具体的な整備時期は未定である。
16.	上北台駅北西地区の南北の避難経路の確保のため、空堀川に人道橋を設置することはできないか。	空堀川への人道橋の設置は困難だと思われるが、南北方向の生活道路などのネットワークの形成については検討していく必要があると考えている。
17.	空堀川をより親しんでもらえるよう、遊歩道に愛称をつけてはどうか。	空堀川沿いの河川管理用通路に愛称をつけることは困難だと思われるが、旧河川部の緑道には公園としての名称を付けると聞いている。
18.	空堀川「旧河川部」という表現は、国や東京都の部署名のように感じられる。	他の計画等で用いている表現であるため、注釈を付けるなどの工夫を検討していきたい。
東大和市駅周辺地区		
19.	東大和市駅周辺地区の活性化に向けた取組の方向性について伺う。	市の玄関口として、商業・業務、医療・福祉などの多様な都市機能の集積や駅前広場や周辺道路などにおける歩きやすい環境づくりなどが考えられる。
20.	東大和市駅周辺地区のまちづくりに向け、地域住民への説明などの予定はあるか。	令和6年度から令和7年度にかけて取り組む「東大和市駅周辺の拠点形成調査検討」の一環として、地域住民などと一緒にまちづくりを考える機会を設けることを予定している。

21.	立3・4・17号桜街道線の整備の進捗状況について伺う。	地域別構想(素案)の20ページに緑色で示す区間(桜が丘二丁目から南街五丁目まで)において、現在、整備を進めている。 黄色で示す区間(南街五丁目から向原五丁目まで)の具体的な整備時期は未定である。
22.	立3・4・17号桜街道線について、現道(市道1、2号線)を活かした線形の見直しの予定はあるか。	現時点において都市計画道路の線形の見直しは考えていない。 令和6年度から令和7年度にかけて取り組む「東大和市駅周辺の拠点形成調査検討」の一環として実施する交通量調査の結果を踏まえ、都市計画道路の整備効果などを検証していく予定である。
23.	東大和市駅周辺地区において用途地域等の見直しの予定はあるか。	現在、改定を進めている都市マスタープランでの位置付けや道路などの都市基盤施設の整備の状況に応じて、具体的な検討を行うものと認識している。
まちづくり推進地区		
24.	「まちづくり推進地区」の都市計画法上の位置付けの有無について伺う。	「まちづくり推進地区」は、都市計画法に基づくものではなく、今回の都市マスタープランの改定における独自の概念として用いることを検討している。
3 その他(全体構想に関するものなど)		
都市の将来像について		
25.	20年後の都市の将来像である「住みたい住み続けたい成長するまち」や基本目標にとっても共感を持たた。 市民に「住み続けたい」と思ってもらうためにどのような姿勢が必要と考えているか。	市民と都市づくりのイメージを共有しつつ、協働で取り組んでいく姿勢が重要であると考えている。
分野別のまちづくりについて [〇〇]:全体構想で整理している分野別方針の分野を示す。		
26.	鉄道や路線バス等の公共交通に関する今後の取組の方向性について伺う。[道路と交通の方針]	利用者の減少や運転手不足などにより、都心部でもバス路線の維持が困難になっているケースがある中、交通機関相互の連携による持続可能性の確保や交通結節点における待合機能や乗換利便性の向上などが必要と考えている。
27.	ちょこバスを増便してほしい。また、自治体によっては無人バスの導入などが進んでい	現時点において、ちょこバスの増便は困難と考えているが、自動運転などの先進技術の

	るので検討してほしい。[道路と交通の方針]	普及が進む中、移動手段の多様化について研究していきたい。
28.	東大和市は他自治体と比べて高低差が小さく平坦であることが特徴だと思われるので、自転車での移動に適していることをPRできると良い。[道路と交通の方針]	現在、市内でシェアサイクルの実証実験が行われており、交通安全対策を前提としつつ、公共交通との連携により円滑な移動の実現に資する可能性があると考えている。
29.	空堀川旧河川部ほか市内の公園や緑地などの維持管理の費用についてどのように考えているか。[みどりと環境の方針]	公園や緑地などの維持管理を市民と協働で取り組んでいる事例がある。 今後、包括管理委託など、より効率的な維持管理手法について研究していく必要があると考えている。
30.	東大和市の象徴である多摩湖の記述が少ないように感じられるが、活用に向けた考えを伺う。[みどりと環境の方針]	都市マスタープランの改定において、市立狭山緑地などにおける貴重な自然環境の保全やレクリエーション機能の充実など、多摩湖を含む狭山丘陵の保全と活用の方向性などを位置付けていくことを検討していきたい。
31.	GX（グリーントランスフォーメーション）やGI（グリーンインフラ）の推進についての考えを伺う。[みどりと環境の方針]	都市マスタープランにおけるGXやGIの位置付けについては研究していきたい。 自然の力を使った防災性の向上や憩いの空間づくりなどが重要であると考えている。
32.	首都直下型地震に対する防災についての考えを伺う。[安全と安心の方針]	防災性の向上には、地域における防災訓練などのソフト面での取組とあわせて、建築物の耐震化・不燃化の促進、都市計画道路の整備による緊急輸送道路等の確保、防災機能を有する公園の配置など、ハード面での取組が重要であると考えている。
33.	人口が減少する中での地域コミュニティの活性化についての考えを伺う。[住まいと暮らしの方針]	地域コミュニティの核となる拠点の形成や拠点を結ぶ利便性の高い交通ネットワークの形成などが重要であると考えている。
その他		
34.	上北台駅の駅名を「狭山丘陵駅」とすることについての考えを伺う。	上北台駅の駅名変更は、観光やまちづくりに寄与するものと認識しており、機会を捉えて多摩都市モノレール（株）に要望したい。